

日本鉄鋼協会記事

第 58 回秋季講演大会 昭和 34 年度秋季講演大会は、11月 3 日から 6 日まで 4 日間にわたり、日本金属学会と連合で大阪において開催された。

I. 講演会：3, 4, 5 日の 3 日間大阪市都島区東野田町 9 丁目大阪大学工学部において行なわれた。第 1 日の 3 日は午前 9 時 20 分開会、初めに足立実行副委員長より歓迎の挨拶が述べられ、次いで塩沢会長の開会の辞があつた後 4 会場にわかれて講演が開始された。4 日、5 日の両日も前日と同様 4 会場において講演が行なわれ 3 日間を通じ研究発表講演は 130 の多数に上り聴講者また 500 名を超える盛況であつた。

II. 懇親会：4 日午後 6 時から北区堂島大阪商工会議所内で日本金属学会と合同の下に懇親会を開催、最初に広田実行委員長、次いで塩沢鉄鋼協会々長、菊田金属学会会長の挨拶があつた後宴に移つたが、本日の出席者 360 名という従来にその例を見ない多数であり、和気霽々の裡に両会々員交々懇談を重ね午後 8 時散会した。

III. 商品展示会：日本金属学会との共催による商品展示会が 3 日間にわたり大阪大学工学部別館において開催、日本光電工業株式会社のオシログラフほか 22 社からの出品にかかる多数の計器、機械、新製品などが展示、紹介された。

IV. 見学会：本会並びに日本金属学会の会員約 680 名は、11 班にわかれ、京阪神地方並びに和歌山、姫路など近畿地方における工場、試験所など約 24 カ所の見学を行なつた。（詳細は別項工場見学記参照）

事業運営懇談会 日時：11 月 5 日午後 5・30、場所：大阪市西区立売堀鉄鋼会館、出席者：本部 塩沢会長、作井、山本各理事、俵監事、沢村前会長、前田、松下各常務委員、小野、草川、沢、堀川各編集委員、事務局橋本、田鍋、山村、高見沢、関西支部：茨木、菅野各常任理事・美馬、足立、高島、高木、森田、井上、高尾、藤田、高瀬各理事横川、岡本各幹事。

秋季大会を機会に、本部役員と支部役員との懇談会を開催、講演会、講習会の開催、会誌の編集、その他協会の事業運営につき活潑な質疑応答があり、また現地側より種々有益な意見の開陳があり、懇談を累ねた。午後 7 時散会。

第 8 回理事会 日時：11 月 10 日（火）午後 4・30 場所：協会々議室。出席者：塩沢会長ほか 14 名。

報告事項：I. 通商産業大臣より感謝状受領の件。II. 秋季講演大会に関する件。III. 事業運営懇談会に関する件。IV. 編集委員会の件。V. 大河内記念賞受賞候補者推薦の件。

協議事項：I. 次期役員候補者並びに受賞候補者推薦依頼の件。II. 東海支部長交代承認の件。III. 東海支部長より申出に関する件。IV. ブリーフス博士講演会開催の件。V. 明年春季大会々場に関する件。VI. 明年秋季大会開催地に関する件。VII. 冶金科志望学生勸奨運動に関する件。VIII. 10 月中収支決算の件。IX. 10 月中入退会その他会員異動の件。

第 9 回編集委員会 日時：11 月 24 日（火）午後 4・30 場所：協会々議室。出席者：作井理事ほか 14 名。

報告事項：I. 11 月号完成および 12 月号完成予定の件。II. ハノス氏、ブリーフス氏およびアラール氏各講演掲載に関する件。III. 関西支部との事業運営懇談会に関する件。IV. 原稿の審査結果報告。

協議事項：I. 35 年 1 月号原稿選定の件。II. 共同研究会報告書に関する件。III. 俵賞受賞候補者推薦の件。IV. 技術資料に関する件。V. 明年春季大会の見学工場選定の件。VI. 会誌交換の件。

特別講演会 11 月 16 日午後 2 時から日本金属学会と共催で、東京都中央区京橋プリジストンビル 1 階ホールにおいて、来日中のドイツ特殊鋼株式会社主任技術者 Dr. Herbert Briefs を招聘、特別講演会を開催、来聴者 170 名を算し盛会であつた。

講演 最近における特殊鋼の金属学的方向 Dr. Briefs

（通訳 日本楽器製造株式会社 執印智司氏）

鉄鋼技術講座 かねて編集集中の鉄鋼技術講座はこのほど第 3 巻「鋼材の性質と試験」が完成、引続き地人書館より発売された。

感謝状受領 本会は 10 月 28 日 池田通商産業大臣よりつぎの感謝状を受領した。

貴会はわが国工業標準化事業について永年にわたり多大の御尽力をいただきその功績まことに甚大なるものがあります。よつて工業標準化法施行 10 周年にあたりここに心から感謝の意を表します。

4 氏に藍綬褒章 本会名誉会員石原米太郎（特殊製鋼社長）、同浅田長平（神戸製鋼所会長）、同永野重雄（富士製鉄社長）および評議員石塚栄蔵（日本製鋼所社長）の 4 氏は鉄鋼業の功労者として、また評議員小柴定雄氏（日立金属工業、安来工場冶金研究所長）は発明の功労者として今回それぞれ藍綬褒章を授与された。

中国四国支部講演会 日本鑄物協会および日本金属学会の各中国四国支部と共催の下に 11 月 13 日広島市平和記念館大講堂において真空鑄造に関する講演会を開催、つぎの諸講演が行なわれた。

1. 真空鑄造法 住友金属工業車輛鑄造事業部 長谷川太郎氏
2. 真空機械真空鑄造装置について 神港精機社長 藤高 六助氏
3. 真空処理せる鋼材の性質 大阪大学工学部教授 足立 彰氏